令和6年度神奈川県中小企業生産性向上促進事業費補助金

＜採択事例＞

CASE 2

生産性向上補助金でエンジンクリーニングマシンを導入し、生産性が向上しました！

有限会社岩本運輸

事業概要:(業種:運送業)
神奈川県小田原市国府津 2289-1
代表取締役：宮﨑　英司さん
【社長より一言】
当社は 1972 年に法人化した精密機器の運搬を得意としている小田原市の運輸業者です。日立のストレージ（外部記憶装置）等を中心に近隣企業の物流部門と長年にわたり安定した取引を営んで参りました。

◆導入した設備

◇エンジンクリーニングマシン

◇発電機

◇エンジン診断機

◆生産性向上のねらい

導入前は、①燃費高騰を価格転嫁できていない事での収益力不足、②ドライバーの人手不足（残業規制による収入減の不安からドライバーが退職)、③人手不足による受注対応ができないことなどが課題でした。これらの課題に対し、新たな事業で収益を確保し、従業員に安心して働いてもらうことが設備導入のねらいです。

～🖉神奈川県取材ノート～

働き方改革による運送業の 2024 年問題は死活問題。これまでの営業を見直す必要があるとお考えの社長は、新たな収入源を見据えて熟考されていたそうです。

そこで、環境にも配慮したエンジンクリーニングの手法について調べ、自社で営業できる機器を見つけて導入を決意、人手不足が深刻な業界ですが、エンジン整備が好きな若手の採用に繋がることを期待されているそうです。

●設備導入前の状況

トラック輸送の依頼がない時間帯は、会社内で従業員が待機するなど、効率の悪い業務形態が多々ありました。

○設備導入後の状況

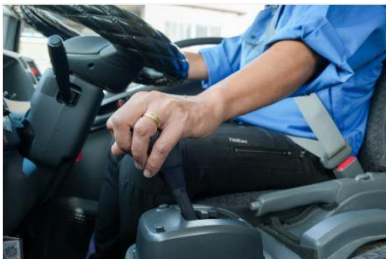
トラックのエンジンクリーニングを新たな収益事業とすることで、空いた時間を有効活用できるようになりました。
自社の車両に機械を積みこみ、出張クリーニングも可能です。

◆補助金を申請する前に悩んだ事、大変だったこと

補助金を利用したいと思っていましたが、申請に不安もあったので、商工会に相談にいくと、中小企業診断士をご紹介いただきました。やりたい事業についての説明はできるのですが収益計画などの計算方法は難しいと感じていたところ、診断士が手厚いサポートをしてくださったので、無事に申請できました。

◆補助金を申請してよかった事

資金面もあり、設備を導入するには補助金が必要だと思っていたので、申請できてよかったです。
この設備を最大限活用し、企業として成長していけるよう、運送業だけでなく、さらにエンジンクリーニング事業の顧客も拡大していきたいと思っています。



◆最後にひとこと！

水素でのエンジンクリーニングを是非お勧めしたい。水素クリーニングすることによって燃費改善、車両故障のリスクが減り、SDGｓにも貢献できるので画期的だと思います。
出張サービスで対応しますので、煩わしいことはありません、是非一度お試しください。

この通気孔にホースを通すだけと説明してくださる宮崎さん

有限会社岩本運輸